

真理子先生の

女性のミカタ

子宮頸がんワクチン



真理子レディースクリニック
院長

伊藤 真理子

●(いとう・まりこ)1986年山形大学
医学部卒業。山大病院、篠田総合
病院を経て2005年6月に真理子レ
ディースクリニックを開業。日本産科
婦人科学会認定産婦人科専門医。

最近、様々なメディア
や街角で「子宮頸がんワ
クチン」の接種を推奨す
る広報を目にされませ
んか？

接種は原則3回

子宮頸がんワクチンは
小学校6年生から高校1
年生までの女性なら自己

負担なしの定期接種が受
けられます。接種する回
数は原則3回ですが、若
い方は抗体のできる力が
強いので、初回を14歳ま
でに接種すれば2回の接
種でも可能です。

冒頭で紹介したワク
チン接種を推奨する広報
は、定期接種の対象年齢
時に接種の機会を逃した

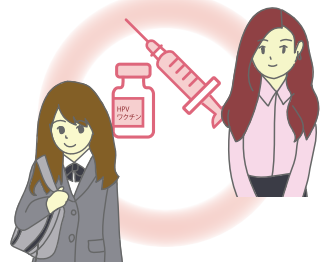
方を意識してのもので
す。

キャッチアップ接種

機会を逃した方を対象
にした公費接種は、接種
済みの方に「追いつきま
しょう」という意味を込
めて「キャッチアップ接
種」と呼ばれています。

始まったのは2年前から
で、期限は来年3月31日
まで。残り11カ月です。
定期接種の高校1年生
も来年はありませんの
で、今の高校1年生から
今年27歳になる方(19
97年度生まれの方)は
今年度が無料で接種が受
けられる最後の年とい
うことになります。

自己負担なら約10万円



このワクチンは半年か
けて3回接種する必要が
ありますので、今年9月
末までに初回接種を済ま
せることが原則となりま
す。接種費用は自己負担
なら3回で約10万円です。

男性も感染します

子宮頸がんは性交渉でヒ
トパピローマウイルス(H

PV)に感染することで発
症しますが、男性にも感染
して中咽頭がんや肛門がん
などを発症することがあり
ます。

このため諸外国では男
女ともワクチンの無料接
種が進んでいます。県内
でも南陽市が昨年からは男
性を対象にワクチンの公
費接種を始めています。

〈産婦人科〉

真理子レディースクリニック

☎023-632-0666 山形市小姓町 6-35

●受付時間

【平日】午前/8時30分～12時

午後/14時～17時

【木曜】午前/8時30分～11時

【土曜】午前/8時～11時

●休診日

日・祝祭日

木・土曜日は午後休診となります。

